



# 小杉 康之

こすぎ やすゆき

(株)コスギ不動産 社長

## PROFILE

熊本市横手出身。1959(昭和34)年6月17日生まれの49歳。九州学院高校卒。趣味はゴルフ(ハンディ0)。

## 市営住宅管理・国際化支援・高齢者支援でさらなる地元密着企業へ

地元根付いた「管理会社」として、独自のPM(オーナーの収益最大化)事業で、オーナーとのより深い信頼関係を築く(株)コスギ不動産。同社はさらなる地域密着企業となるべく、3つの新たな取り組みに力を注ぐ。

まず、4月からは「熊本市営住宅管理センター共同企業体」として、兵庫県の日本管財(株)と共同し、熊本市営住宅(約120団地、約570棟、約1万3千2百戸)の指定管理者事業を開始する。賃貸関係を除くすべての業務を担当、民間のノウハウを用いたサービスを提供する。

また、地域の国際化支援を目的に、県内初で中国人留学生への住居仲介業務をスタート。留学生の初期投資を軽減、負担の少ない環境づくりを行った点が魅力的だ。家賃は月額2万5千円から3万5千円で、敷金および手数料は無料。テレビや冷蔵庫などの一部家電製品も準備し、中国語の人居案内や契約書を用意している。学校との提携を視野に入れるとともに、他国の留学生にも対応していく。

さらには、加速する少子高齢時代を視野に入れ高齢者支援も実践する。高齢者のニーズに対応した対策に加え、不動産の有効活用という側面からも、高齢者専用住宅、高齢者向け優良賃貸住宅の企画、あるいは既存物件の高齢者住宅へのリノベーションなどにも取り組む。

「単なる努力ではなく、創意工夫した努力が重要。常にお客さまのことを考え、一步先の行動ができる当社でありたい。今年も社員一丸となつて全力疾走しますよ」と小杉社長は力強く語る。(新しい取り組みについての詳細はくまもと経済2月号にて特集)

〒862-0976 熊本市九品寺3-15-4 TEL096(366)5000 <http://www.kosugi-f.com>



設立/1982(昭和57)年7月 資本金/1000万円 事業内容/不動産売買、賃貸仲介、賃貸管理業務、分譲開発業務、不動産証券化事業 従業員/148人(パート含む) 売上高/約25億円 管理物件数/約11,000戸 出先/売買事業部、マンスリー事業部、営業本店、下通支店、東部支店、光の森支店、平成支店、水道町支店、大津支店 関連会社/有)小杉住宅、(株)ジャナス・アセット・コーポレーション、有)小杉観光、阿蘇ハイランド開発(株)、(株)かいこのみらい

## 4月から熊本市営住宅の管理運営を開始

### コスギ不動産

(株)コスギ不動産(熊本市九品寺3丁目、小杉康之社長)は4月1日から、指定管理者として熊本市営住宅の管理・運営を開始する。

期間は3年間で、受託金は約13億円。「熊本市営住宅管理センター共同事業体」として日本管財(株)(兵庫県西宮市、福田慎太郎社長)と共同運営する。同市営団地は、市内各地に約120団地、約570棟、約1万3200戸ある。家賃関係の業務は従来通り市が担当し、そのほかすべての

業務を同事業体で管理・運営する。

同事業体の事務所は、熊本市住宅協会の事務所を引き継ぐこととなるため、熊本市役所(同市手取本町)内9階に置く。スタッフは約20人。

同社は「公益性ある事業を受託することができ光栄。住居者への24時間対応など、民間だからこそできるサービスを展開したい。また、住居者にとって必要な事項に関しては市に対し積極的に要望を提出していきたい」と話している。



▲熊本市内には約120団地の市営団地が点在する。写真は画図重富団地



▲新地団地



▶熊本市役所の9階に事務所を構える

## 観光資源を線でつなぎ活用すべき



小杉康之  
(株)コスギ不動産  
社長

駅前再開発や熊本城、恵まれた自然「阿蘇・天草」など、熊本には観光資源が各所にあります。しかし、これらは点として存在しているだけ。例えば交通アクセスの拠点である空港や駅から観光ルートをつくるなど、点を線でつなぎ活用することで、観光都市としての十分な機能を果たせるはずです。そのためには行政と民間をコラボさせ、知恵を振り絞り工夫して、広範囲でのPRやパフォーマンスなどを実施していくべきです。

当社では不動産の観点から何ができるかを考えるとともに、ロードス熊本やゴルフなどの各スポーツ、環境運動への取り組みなど、あらゆる社会貢献活動に今後も力を注いでいきます。